



■現在のお仕事状況

訪問介護の仕事をメインに週4回～5日、一日6件程度を訪問しています。私は登録ヘルパーのため時間に拘束はなく、基本的に週2回程度はSBFのキャストとして働いていますが、訪問介護の仕事日も、数時間のスキマ時間があれば、スポットラウンダーのお仕事を入れることもあります。

ー「ラウンダーとしての経験を積みたい」とSBFに登録

SBFにキャスト登録前は、他社で1社専属ラウンダーとして5年間家電量販店を中心に活動していましたが、営業的な仕事が増えてしまったため、ラウンダーとして働ける場所を探していたのと、「別の業種のラウンダーも経験したい」と思い2006年SBFにキャスト登録をしました。

登録当初は、製薬メーカーの定期ラウンダーとして、品出しや試供品付けのお仕事や、アルコール検知器のメンテナンス作業を行っていました。

重い商品や販促物を運ぶような重労働の作業や、夏の時期のバックヤードも暑さ、毎月訪問日を決めなければいけないスケジュールの縛りなど、多少大変だと感じる部分もありましたが、定期ラウンダーは、長期で同じクライアントを担当できるため安心感や、相手との信頼関係を築くことができ、「ひまわりの咲くころにまた会いましょうね!」といった心温まるふれあいがあり、楽しく訪問していました。

ー訪問介護の仕事と両立するために、定期ラウンダーからスポットラウンダーへ

定期ラウンダーのお仕事をする中で、訪問介護の仕事を始めたため、スケジュール調整がしやすく、短期で様々なクライアント様依頼のお仕事をするスポットラウンダーのお仕事に徐々にシフトしました。

S B Fのお仕事は、「販促物の設置」や「商品の陳列」などの売り場作りや、「店頭商品の価格調査」など、多種多様なクライアント様からのお仕事を行うことができます。

様々な活動経験が自分の中で安心感へとつながるだけでなく、常に新鮮な気持ちを持って取り組むことができるため、長く続けられているのだと実感しています。

そして何より自分のペースで毎月の仕事量を調整出来る点が、主婦には有難く魅力的であると思います。

一更なるキャリアアップのためにケアマネジャーの資格取得を目指し学び直し

せっかく介護の仕事をしているのなら、関連するケアマネジャーの資格取得にチャレンジしたいと、以前より漠然と思っていましたが、平成28年の法改正後、ケアマネジャーの資格は5年の更新制となり、更新や研修時の費用がネックとなり躊躇していました。

しかしながら、近年の夏の厳しい暑さにより、訪問時の移動や作業時の体力的なことなど、訪問介護を続けていくことに不安を感じるようになりました。

今後の働き方の選択肢の一つとして、再度ケアマネジャーとして働くことを考えてみたくなり、まずは受験を目指して学び直しを計画中です。

一仕事と勉強の両立方法、佐々木さんの学び直しのプランは？



ケアマネジャーの資格は、難易度が高く昨年度の合格率は10.1%でした。(厚労省発表、第21回介護支援専門員実務研修受講試験の実施状況より)程度でした。

まずは来年10月の試験を目指して、勉強期間が短いかもしれませんが独学で勤務先のケアマネジャーにアドバイスを受けながら勉強を始めることから初めて、徐々に通信教育と併用してチャレンジする計画を立てています。

一自分への課題をこなすことで得られる達成感や充実感が元気の源に。

学生の頃は与えられた学びであったため、自分の意志とは無関係に色々な資格を取得しました。それが仕事をするようになり、様々な場面で役立つことを実感したときに、「趣味でも仕事でも資格を取る学びは楽しいな」と思えるようになり、生活に支障の無い中で出来る勉強に興味を持つようになりました。

大学や留学などの、本格的な学びにも興味はありますが、経済的なことや家族の負担を考えると、今の自分に有効だと思わないため、「背伸びせず全く負担にならない中で行える学び」

が私にはちょうどよく、みなさんが友達とのランチやヨガなど、自分の時間を楽しむのと同じように、私にとって学びのための時間が息抜きになっています。

また、自分への課題をこなしていくことで得られる達成感や充実感が私の元気の源となり、前向きな自分でいられるのだと思います。

なので、学ぶことは私の人生に影響を与えるものではなく、日常に組み込まれた生活の一部です。

サステナブル∞ワークスタイル

キャストインタビュー②「働きながらの学び直し、幼児英語教室開設を目指して」



■現在のお仕事状況

出産後はフリーランスで現在2人（長女4歳・次女2歳）の子どもの育児をしながら、Web記事の編集や翻訳を在宅で行っています。

仕事をする時間は、長女が保育園就園中の13時～16時が基本で、必要があれば育児がひと段落した21時以降に1～2時間程度仕事をする場合もあります。

—翻訳の専門スキルを活かせる仕事がSBFにはあった

在宅ワークで家事・育児・仕事の両立をする中でも、日時や報酬の条件が合い、仕事の幅が広げられて自分の息抜きになるような仕事に出会いたいと思いSBFに登録しました。

お仕事情報をみていると、偶然私の得意分野である翻訳業務を募集しており応募したのがきっかけです。

子育てのスキマ時間や息抜きとして、自宅保育の次女を一時保育に預け、プライベートとは違った意識や緊張感でお客さんとなり依頼店舗や商業施設での接客調査や、スポットラウンダーのお仕事も体験させていただきました。

子育て中は子どもとの時間だけで忙しく、いずれ本格的な仕事復帰をするための、少

しずつでも社会との繋がりを持つ時間が必要だと感じています。

一やりたいことが見つからなかった学生時代から、「海外で旅行に関わる仕事がしたい！」と 思い留学

学生の頃は特にやりたいことがみつからず、「これ以上勉強しても意味がない」ということもありました。

社会人になって旅行が趣味となり、海外へ旅行するたびに「海外で旅行に関わる仕事がしたい！」という思いが強くなりました。

そのために何が必要であるかを考えたときに、まずは中学生レベルだった英語を鍛え直す必要あると思い、一念発起して思い切って5年間務めた会社を辞めて、フィジーでホームステイをしながら1年間現地の英語学校に通いました。

一夢を追いかけることで、消極的な自分を積極的な自分に

日本に帰国後は、添乗員として必要な旅程管理主任者資格を取得し、国際見本市運営の仕事に関わるなど、留学前は消極的であった私からは考えられないほど、積極的に単発の旅行業の仕事をしました。

当時のことを思い出すと、夢を叶えたい！という強い思いが原動力となり、消極的であった自分を変え、初めてで不安ばかりのことでもチャレンジすることができたのだと思います。

一ニュージーランドでツアーガイドの会社に就職、長年描いた夢を実現

その後、決めていたニュージーランドへの渡航資金が貯まったため、フィジーでの留学経験や添乗員としての経験が認められ、ニュージーランドでツアーガイドの会社に就職し、長年の夢を実現させました。



入社後は、ガイドとして現地について学び、英語の語学力を磨くために勉強もしていたので、1年近く睡眠時間は平均2~3時間で、朝は毎日5時には起床していました。それでも、辛くて辞めたいと思ったことは1度もなく、むしろ勉強していることが楽しかったです。

一更なる高みを目指し、幼児向けの英語教室を開く夢を追いかける

帰国後、結婚・出産を経て、育児をしながら「子どもが成長したら、仕事復帰したい」という思いから、子育てしながらもできる在宅ワークを始めました。最初はどんな職種で仕事復帰するか検討もつきませんでした。色々な仕事をする中で、「自分の得意な英語を活かせる仕事を続けていきたい」という思いが強くなりました。



今は、幼児向けの英語教室を開くという夢に向かって新たに勉強を始めています。

幼児向けの英語や教育については素人のため、自分の子どもの勉強用に購入した教材などを使い独学で勉強をしています。

また、地元の子育てサークルなどで、どんな授業が子ども受けするのかという反応を自分なりに実践しながら試行錯誤しています。

インタビューの引用掲載・追加取材も承っております。以下よりお問い合わせください。

ソフトブレン・フィールド株式会社 経営企画部 広報担当 石井 (いしい) /山室 (やまむろ)

TEL : 03-6328-3883 FAX : 03-6328-3631 くわしくは、press@sbfield.co.jpよりお気軽にお問合せください。



ソフトブレン・フィールド キャストの特徴

- 消費者目線を持つ40代～50代の主婦が中心。商品やサービスにおいて適切なフィールドマーケティングが可能。
- 地域に暮らす多様な人々と付き合い、地域独自の課題やニーズを理解している。
- 企業で働いた経験がありビジネスマナー・社会常識を有する。任された仕事をやり遂げる基本的な達成意欲を持つ。



登録キャスト数

全国 **約9万人** ※2019年6月現在
91,472名(女性8：男性2)



取引実績業種

138カテゴリー 350社以上 ※2019年6月現在

ラウンダー・店頭/店舗調査他、自分の生活圏の(Dgs,GMS,SM,CVS他)で全国のキャストが活動中

当社へのキャスト登録は、
Cast support system

ぶちっとな



<https://www.sbfield.co.jp/pc/>

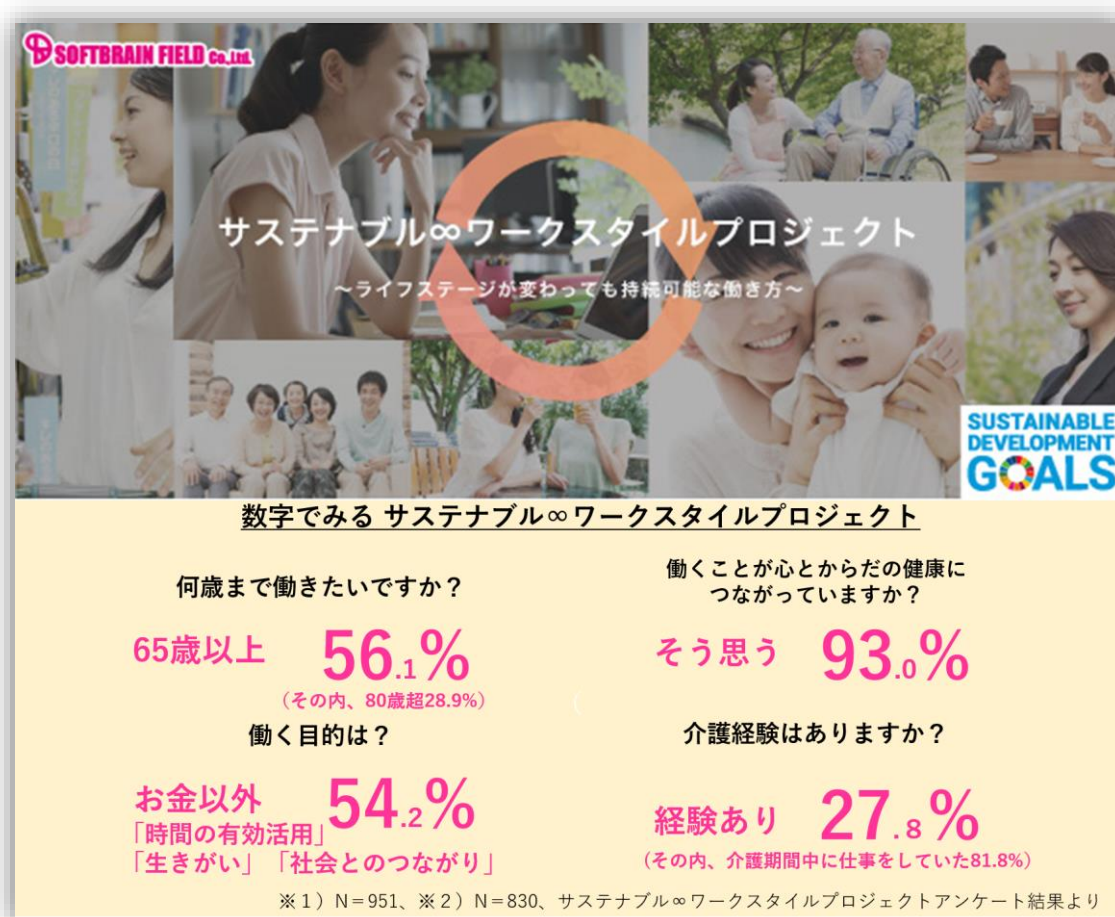
【ソフトブレン・フィールド株式会社 会社概要】URL : <https://www.sbfield.co.jp/>

ソフトブレン・フィールド株式会社は、ソフトブレン株式会社（市場名：東証1部・4779、本社：東京都中央区、設立年月日：1992年6月17日、代表取締役社長：豊田浩文）のグループ会社として、全国の主婦を中心とした登録スタッフ約90,000名のネットワークを活用し、北海道から沖縄まで全国のドラッグストアやスーパー、コンビニ、専門店など175,000店舗以上をカバーし、営業支援（ラウンダー）や市場調査（ミステリーショッパー、店頭調査など）を実施しています。当社代表の木名瀬博は、2004年にアサヒビールの社内独立支援制度に応募し、合格第1号事業として独立しました。

本社所在地：東京都港区赤坂3-5-2 サンヨー赤坂ビル5階 設立：2004年7月 / 資本金：151,499,329円

代表取締役社長：木名瀬博 「木名瀬博のフィールド虎の巻」 URL：

<https://www.sbfield.co.jp/toranomaki>



ソフトブレン・フィールドは、2004年創業当初より長年にわたり、働く意欲ある主婦を中心とした女性達に「年齢・時間・場所の制約がない柔軟な働き方」を提供している背景から、2018年5月31日に「サステナブル∞ワークスタイルプロジェクト」を発足しました。国連で採択された2030年までの国際目標「SDGs（Sustainable Development Goals／持続可能な開発目標）」の考えに基づき、企業および働く人にとって、無理・無駄なく、持続可能な働き方こそ、企業の生産性が向上し、本当の働き方改革の推進につながると考えます。